みんなの広場

スポットライト

行政相談委員として15年
館田秋雄（たてだあきお）さん

総務大臣表彰を受賞
苦情や相談のつなぎ役

長く行政相談委員として活動し、特に活躍が顕著な委員に対する総務大臣表彰式が10月5日に都内であり、石巻市担当の舘田秋雄さん(78)＝相野谷＝が受賞しました。本年度、県内では3人だけの栄誉で、11月2日には齋藤正美市長に受賞を報告しました。

行政相談委員は国の行政活動全般に関する苦情や相談を受け付け、相談者への助言や関係機関への通知をボランティアで行う国と国民とのつなぎ役です。総務大臣が委嘱した民間有識者で、各市町村1人以上、全国約5千人がいます。

宮城県内は98人が配置されており、元市職員の舘田さんは平成23年4月から15年以上務めています。地元の河北総合支所で2月に一度、定例の行政相談を行っており、行政の職員とは違った立場で苦情や要望への解決に向けています。

委嘱の翌月から平成28年7月末までは計15回、東日本大震災に伴う特別相談会にも参加し、義援金から避難先の住まいや生活、二重ローンの問題など多岐にわたる相談に対応しました。

地元の住民から北上川の堤防を散策の道として舗装してほしいとの要望を受けた際、北上川下流事務所がすぐに対応してくれたのが印象深いそうです。また、急な坂道の生活道路が冬場に凍結して危ないとの相談を受けた際には、現地を確認した上で関係機関につなぎ、融雪剤と滑り止め砂を収納した箱が設置されるようになりました。

令和3～6年度は宮城行政相談委員協議会の理事も務め、リーダーの一人として活躍しました。舘田さんは「委員の活動は苦にならず、地域の皆さんに感謝している。行政相談の仕組みを広く知ってもらえるよう今後もできる限り頑張りたい」と話していました。



表彰状を披露する舘田さん


齋藤市長に受賞を報告しました

きらり★まきっこ 33

生物学者になりたいです

佐藤 福馬（さとう ふくま）さん（大谷地小学校6年）



ミツバチがいなくなると生態系のバランスが崩れ、人間の生活にも影響が出ることを知りました。そこで、ニホンミツバチを研究するため、自分でも昨年4月に養蜂を始めました。山の中と畑に巣箱を設置して観察しました。特に気を付けたのは外敵のオオスズメバチ対策です。巣箱の周りを網で囲む作戦を立てました。

巣は順調に大きくなり、6月に初めて3.5kgのハチミツを採ることができました。花を食べているような濃厚な味で、とても心に残っています。ミツロウでキャンドルを作ることもできました。花粉を集めたミツバチが帰って来て、巣箱に入っていく姿がとてもかわいくて、つい眺めてしまいます。将来は生物学者になって、生き物を研究したいです。

市報いしのまき　第340号　令和8年12月1日発行
発行　石巻市総務部秘書広報課　☎0225-95-1111 FAX23-4340
〒986-8501 宮城県石巻市穀町14-1

編集/制作　(株)石巻日日新聞社
古紙パルプ配合の再生紙と環境に優しい植物油インキを使用しています。再生紙としてリサイクルできます。「ざつがみ類」として分別してください。

住民基本台帳による石巻市の人口と世帯数（前年比）		
令和8年10月末現在	人　口	128,258人　（▲2,148）
	世帯数	62,471世帯（▲22）